

令和8年度 家庭学習の手引き

これを参考に
勉強するぞ。

学習の質を
高めよう！



由岐中学校伊座利分校

年 組 番 氏名：

目次

* 各教科の学習方法

- ・ 国語科 2
- ・ 数学科 2
- ・ 社会科 3
- ・ 理科 4
- ・ 英語科 4
- ・ 音楽科 5
- ・ 美術科 6
- ・ 保健体育科 6
- ・ 技術科 6
- ・ 家庭科 6

* 毎日の課題 7

* 各教科の学習方法

国語科

☆予習 ○教科書に目を通しておこう。(声を出して読むとより効果的!!)

○新出漢字、新出音訓のチェックをしよう。

○分からない語句は辞書を使って調べよう。

☆復習 ○その日のうちに、ノート・プリント・テストを見直しておこう。

○くりかえし漢字は自主的にやっておこう。※部首名・音訓・熟語は要チェック!

○漢字や文法などの「暗記することで点が取れる」分野を中心に取り組むことも大切。

☆国語の力を身につけるために…

○読書をしっかりしよう。(多くの人の言葉や文体に親しむことが大切!)

○新聞を読もう。

徳島新聞なら「鳴潮」「読書の手紙」、朝日新聞なら「天声人語」「声」を中心に、記事の見出し(タイトル)だけでも目を通そう。

☆テスト対策

実力テスト等の長文問題を読むのに時間がかかる場合は、本文を読む前に、まずは「問い」から読もう。「問い」に目を通し、どんな問題が出るかを先に頭に入れておくと、文章を読む時間を短縮できます。そして、「問い」に対する「答え」となる部分や関係している部分に線を引くことも効果的です。

数学科

- ・授業が勝負! 「どうして?」「どうすれば?」と、考えながら授業を受ける。
- ・問題を解いて、答え合わせをする。「わかったつもり」にならないように!
- ・まちがった問題が大事。どこで、どうしてまちがったか追究する。次に生かそう!
- ・できる問題も繰り返しやれば、スピードアップ。テスト時の余裕をつくろう。
- ・問題をよく読んで、取り掛かれるところを見つけて、わかる形に直してみよう。
- ・わからないところは、質問しよう。

復習

○授業でしたことを、教科書・ノートで振り返る。

○授業で習った範囲の計算練習や数学演習の問題をする。

○まちがった問題を、どこでまちがったのかを調べて、もう一度解く。

○定期テストや単元末テスト、実力テストの復習をする。

宿題

○出された宿題は、必ず見直して、答え合わせをすること。

○まちがった問題は、どこでまちがったのかを調べて、もう一度解く。

○解説があるときは、よく読む。わからないところは、学校で質問する。

社会科

- ・ 暗記教科と**決めつけないこと**！
- ・ 理解しないまま、頭に詰め込もうとすると混乱してしまう！
- ・ 地理は地図、歴史は**その流れ**（年表など）を大切にしましょう！
- ・ 地図や年表は、出発点でありゴールでもあります
- ・ 世界（日本）の国々で起こっていることに**興味・関心**を持つことが、学習の手助けになります。（ニュースや新聞をしっかりと活用しましょう）
- ・ テスト前には、**多くの問題量**をこなすよう心がけましょう。出題パターンが分かる！

具体的な学習について…

【歴史】

- 1) 教科書・資料集の内容を大切にしましょう。
- 2) 近年、歴史漫画なども出ているので、楽しんで読むことも大切。
- 3) テスト範囲（歴史）の勉強をするときは、範囲の年表なども作成すると便利です。
- 4) 歴史の学習で大事なものは、年表の数字ではなく、因果関係（原因と結果）を理解することが一番です。
- 5) 教科書に出てくる、資料やさし絵（建物・美術作品、人物等）も確認する。
- 6) 教科書の重要語句（太字のみ）を並べて、自分なりに流れや出来事を話す練習も効果的です。

【地理】

- 1) 地図を中心に考えてください。
- 2) 国や県が地図上で位置関係が分かることが大切です。
- 3) 地名や県名は知っているけど、場所が分からない…では意味がないです。
*例を出せば、「香川県は徳島県の北側にある」ということが分かることが大切です。
- 4) 地域の様子や、変化を主に学習します。だから、統計や資料が大切です。
*しかし、資料の細かい数字を覚える必要はありません。（資料は変化します）
- 5) 略地図を描いて、自分でならったことを書き込むことができれば凄いです。

【公民】

- 1) 何よりもまず、**新聞**を読みましょう。
ニュースなどを聞くのも良いです。
- 2) 社会の出来事に、しっかり目を向けましょう。
- 3) 毎日動いている、社会の状況に関心をもつことが公民の授業へのスタートです。
- 4) 教科書の重要語句を理解するのに苦労しますが、**用語集**などを購入して家庭学習で確認することも有効な手だてです。
- 5) 自分の住んでいる地域の様子にも関心を向けて、生活をするのも心がけましょう。
- 6) 何より覚える語句が多く、その上難しいので、しっかりと予習復習をしましょう。

理科

- 一日 10 分は教科書やノートを見ながら、学習したことをふりかえる。
- 新しく習った用語の意味を確かめ、図などを使って分かりやすくまとめる。
- 計算するときには必ずその計算式を残し、見直してできるようにする。
- 実験内容の事象や用いた器具など、後で自分で説明出来るようにする。
- 学習したことを日常生活と関連づけ、活用できるようにする。

大切なのは、自分なりに説明ができること

英語科

1 予習の仕方

- ① 新出語句(単語)をワークノートに書いて、意味を書いておきましょう。
- ② 本文をワークノートに書いておきましょう。
- ③ ワークノートの左のページの「Key Sentences」を見ておきましょう。
- ④ ワークノートや教科書の QR コードで発音の練習をしましょう。

2 授業の受け方

- ① 大きな声で読みましょう。
- ② 大きな声で話しましょう。
- ③ ノートをていねいに書きましょう。
- ④ コミュニケーション活動には積極的に取り組みましょう。
- ⑤ わからないことは、その日のうちに質問しましょう。
- ⑥ 忘れ物をしないようにしましょう。

※教科書、ノート、ワーク、ワークノート、ファイル

3 復習の仕方

- ① 教科書を大きな声で何度も読みましょう。
- ② その日習った単語を覚えるまで書きましょう。
- ③ ワークの問題を解きましょう。
- ④ 授業で使ったプリントを復習しましょう。
- ⑤ テスト等は必ず復習し、ファイルにはさんでおきましょう。

音楽科

音楽に親しみましょう！

音楽は各教科とのつながりが多い教科です。風土・文化・歴史などを学び、表現や鑑賞につなげていきましょう。

また、暮らしや自然の中にある音に耳を傾けたり、演奏会に足を運んだりして、授業だけでなく様々な場面で、自分の感性を磨いていくように心がけましょう。

テレビやラジオではいろんなジャンルの音楽が流れています。

よい音楽をできるだけたくさん聴くようにしましょう。

(コンサートに出かけて行って、生演奏で聴けたらもっといいですね。)

教科書に載っている曲は、テレビやBGMにもよく使われています。

アレンジされている曲も多く、意識して聞いてみると親しみが持てますよ。

◎テレビの音楽番組を、見たり聴いたりしよう！

- ・うたコン（NHK 総合）
- ・ミュージックステーション（テレビ朝日）
- ・CDTV ライブ！ライブ！（TBS）
- ・題名のない音楽会（テレビ朝日）
- ・みんなのうた（NHK Eテレ）

家庭学習

・実技のテストや行事等で音楽表現をする時は、繰り返し練習をして自信を持って演奏できるように取り組もう。

・授業で学習した曲は、歌ったり楽器演奏をしたりして、音楽表現できるレパートリーを増やしていこう。

・授業の準備物を確認しよう。

◇テスト前には……

音楽の筆記テストは、授業で習ったところが確実に出題されます。

- ・由岐中学校の校歌の歌詞は3番まで正確に書けるようにしておこう。
- ・音楽の基礎知識、記号や音楽標語について学んだところを、確実に復習する。
- ・授業中に学習した鑑賞曲は、曲名・作曲者名・演奏形態・曲や作曲者の特徴をきちんとつかんでおく。
- ・授業中にみんなで歌った曲は、暗譜で歌えるようしっかり歌詞を覚えよう。
- ・授業で使ったワークシートやノートには、必ず目を通しておこう。

美術科

- ・美術の用語を覚えて、使ってみよう。
- ・身の周りの使いやすいもの、見てすぐわかるもの、目に優しいと感じるものにはデザインの工夫がある。どういう工夫か考えてみよう。
- ・身の周りのものを観察しよう。明暗や陰影を意識してみよう。

保健体育科

保健分野

- ・教科書・配布プリントをしっかり復習していこう。
- ・日頃から健康や病気に関してのニュースや記事に関心を持って自己の健康管理に役立てていこう。

体育分野

- ・教科書や体育実技の本を見て各種目のルールや練習方法などを学習していこう。
- ・スポーツ観戦やテレビ等で運動の楽しさや技能、公正な態度等について学ぼう。
- ・家でストレッチや筋力トレーニングなどに取り組み自己の体力増強に努めよう。

日々の生活の中で

- ・規則正しい生活習慣を身につけよう。
- ・きちんと食事をとろう。(偏食、暴飲暴食をしない)
- ・適切な休養や睡眠時間をとろう。
- ・体調不良の時は早めに対処していこう。(無理はしない)

技術科

- ・生活の中で学習した知識・技能を生かせる場面を見つけ、挑戦してみよう。
- ・身の周りの問題や不便を解決する方法を考え、どんな技能・知識が必要か調べよう。
- ・身の周りに危険なところはないか観察し、より安全にするための工夫をしよう。
- ・ニュースや社会に興味を持ち、技術の進歩を知ろう。

家庭科

- ・生活の中にある技術(ものづくり、情報技術)に気づき、調べてみよう。
- ・生活の中で学習した知識・技能を生かせる場面を見つけ、工夫し創造しようと挑戦してみよう。
- ・家庭の仕事に関心を持ち、自分ができる手伝いをしよう。

家庭での学習

* 毎日の課題

2年

朝の3点セット(毎朝提出する)

- ・生活記録 ……日記は習った漢字を使い、最後の行まで書く。
- ・自主学習ノート ……1日1ページ以上。休日は2ページ以上。
主にセミナーの復習とその日の授業の予習復習をする。
- ・セミナープリント ……毎日1枚。休日も。
答え合わせは次の日の朝に行い提出。

3年

朝の3点セット(毎朝提出する)

- ・生活記録 ……日記は漢字を使い最後の行まで書く。
家庭学習の教科と時間の欄も書く。
- ・自主学習ノート……1日2ページ以上。休日は2ページ以上。
主にその日の授業の予習と復習をする。
- ・整理と対策 ……各自予定表を参考にしながら、自分で増やすもよし。

継続は力なり

家庭学習の環境をチェック!

集中できるか。

おやつや遊び道具は、勉強中は見えないところへ置こう。
何時まで集中して勉強するか、家族に宣言しておこう。

手元は明るいか。

文字がはっきり見えるようにしよう。

姿勢よく読み書きできるか。

机の上を片付けよう。

